

財政状況をお知らせします

平成26年度上半期（9月30日現在）

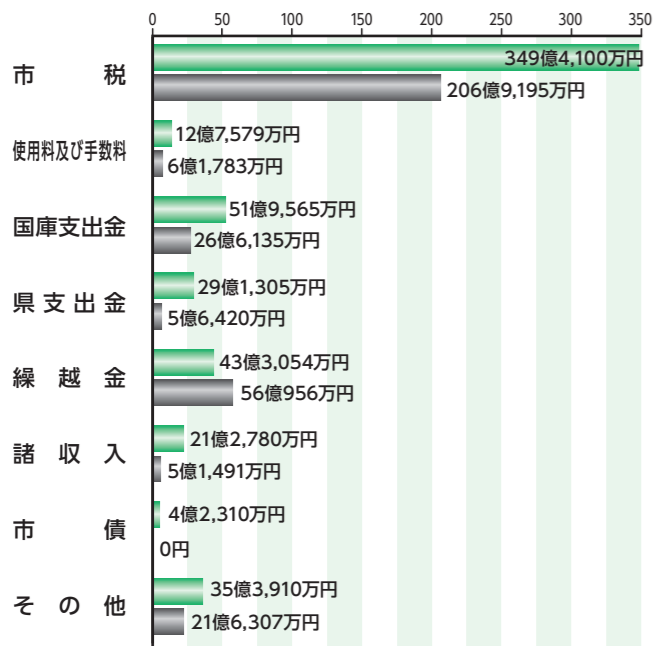
問 財務課（☎62-1006）

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。

今回は、平成26年度上半期（9月30日現在）の予算執行状況をお知らせします。

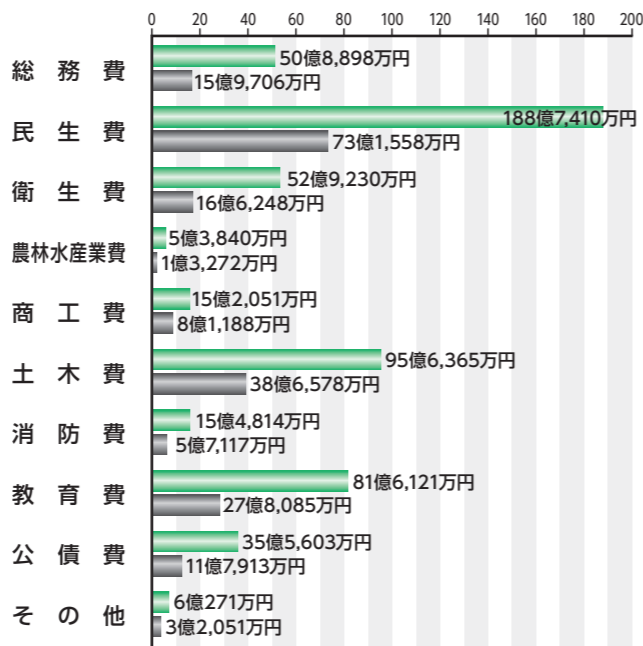
◆一般会計（歳入）

予算現額 547億4,603万円
 収入済額 328億2,287万円
 収入率 60.0%



◆一般会計（歳出）

予算現額 547億4,603万円
 支出済額 202億3,716万円
 執行率 37.0%

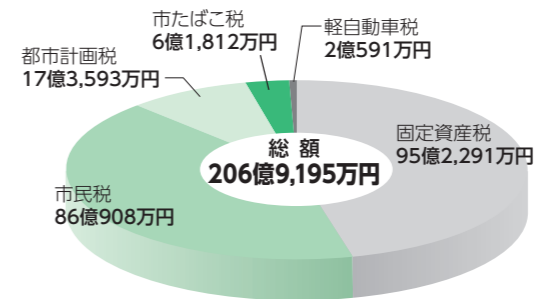


市税の負担状況

1人当たり 139,263円

1世帯当たり 331,687円

市税収入済額内訳



市有財産の状況

土地 3,342,173.79㎡
 建物 547,906.04㎡
 基金 193億4,456万円

市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
教育債	34億6,743万円
土木・公営住宅債	21億7,133万円
総務債	13億9,539万円
衛生債	10億4,768万円
民生債	4億7,787万円
消防債	4,254万円
その他	32億4,769万円
計	118億4,993万円

◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	5億2,359万円
下水道事業	240億1,921万円
計	245億4,280万円

◆企業会計

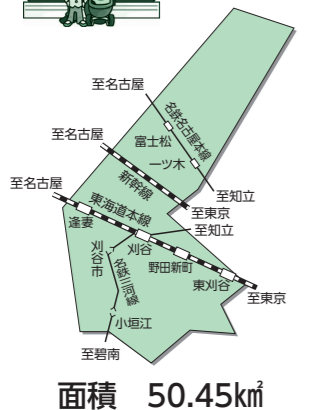
水道事業	12億9,386万円
------	------------

◆基礎数値◆

平成26年9月30日現在

人口 148,582人

世帯数 62,384世帯



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3億2,964万円	2億5,531万円	9,310万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億1,903万円	1億1,806万円	5,914万円
下水道事業	49億2,529万円	30億3,570万円	14億7,082万円
国民健康保険	116億5,643万円	58億1,472万円	49億2,885万円
後期高齢者医療	14億2,856万円	4億7,540万円	2億8,815万円
介護保険	67億2,639万円	30億4,254万円	26億5,747万円
計	251億8,534万円	127億4,173万円	94億9,753万円

◆水道事業会計

区分	予算現額	執行額
収益的収入	29億2,967万円	10億8,414万円
収益的支出	27億5,796万円	8億9,611万円
資本的収入	5億423万円	3,089万円
資本的支出	12億995万円	5億3,097万円

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の平成25年度決算に基づく数値をお知らせします（表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています）。

◆健全化判断比率

（単位：％）

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.62
連結実質赤字比率	-	16.62
実質公債費比率	△0.3	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標
 連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
 実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標
 将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標
 早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

◆資金不足比率

（単位：％）

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
下水道事業特別会計	-	
水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
 経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評…市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。